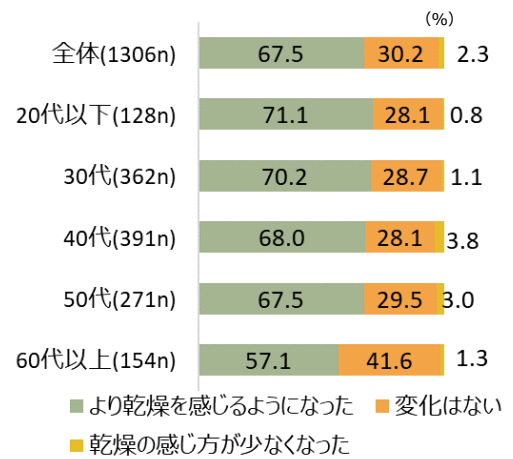


01 Woman's Trend

冬よりも、むしろ春の方がお肌の乾燥は深刻？

保湿しても効果が感じられない部位は「手・指先」

◆3年前と比べて乾燥度合いは？ (1496n グラフ1)

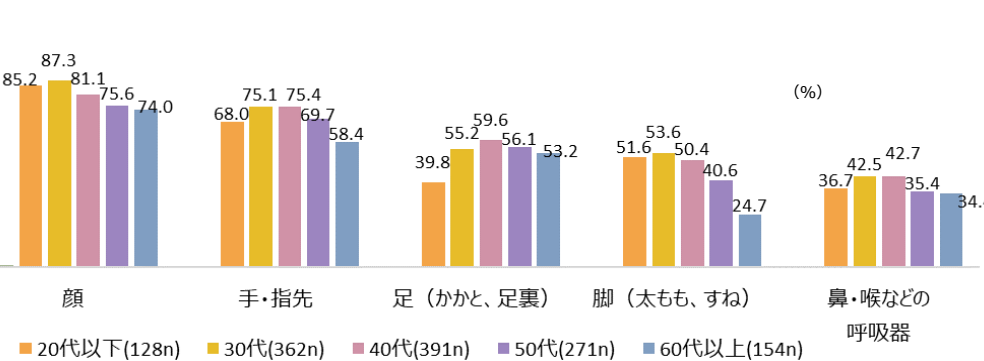


低湿度が続いた冬、肌の乾燥に悩む女性たちが、どのような対策をとったのか調査した。1496人の回答者のうち、昨冬「肌や身体の乾燥を感じた」は87.3%。そのうち1/4強の27.0%が「いつもの冬より乾燥を感じた」と答えている。3年前と比較して乾燥度合いを聞いたところ「より、乾燥を感じるようになった」が67.5%。年齢が上になるほど、より乾燥を感じるようになるのかと思いきや、20代以下71.1%、30代70.2%と、若い世代でも乾燥しやすくなったと感じている（**グラフ1**）。

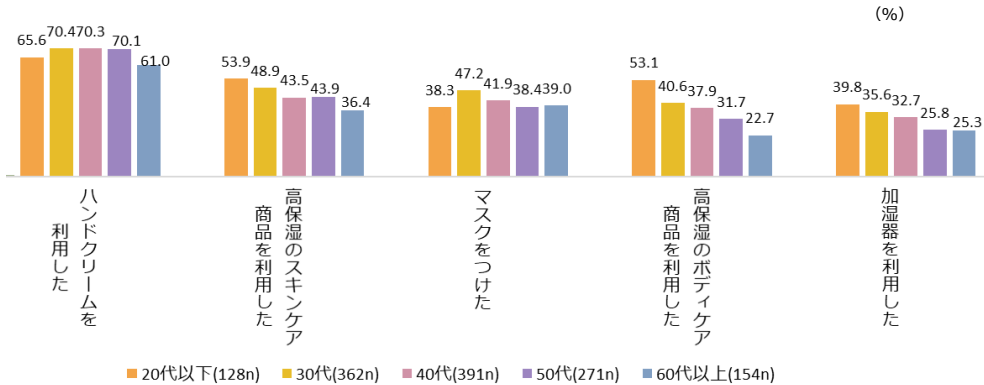
乾燥を感じた部位は「顔」がトップで続いて「手・指先」「足」。年代別に見ると、全体的に30代・40代で乾燥を訴えるピークが来て、50代、60代と年齢が上がるにつれ少しずつ減っていく傾向が見られる（**グラフ2**）。乾燥対策として実行したこと上位5項目は、**グラフ3**のとおり。高保湿のスキンケアやボディケアを

2019.4.3～4.8 リビングWeb・あんふぁんWeb・シティリビングWebでのWeb調査 集計数：1496人／平均年齢：44.8歳／内訳：20代以下9.4% 30代27.2% 40代29.4% 50代22.3% 60代以上11.8%／フルタイムワーク35.0% パート・アルバイトワーク25.1% 専業主婦32.6% そのほか7.3% データは小数点2位以下四捨五入

◆昨冬、「乾燥」を感じた部位 上位5項目 (複数回答 1306n グラフ2)

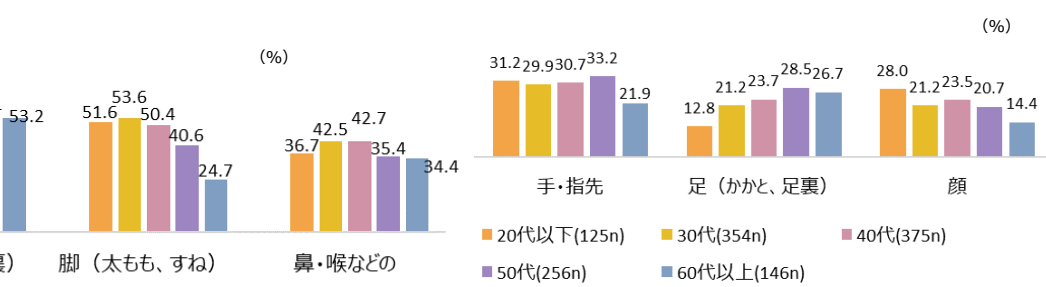


◆昨冬、実行した乾燥対策 上位5項目 (複数回答 1306n グラフ3)

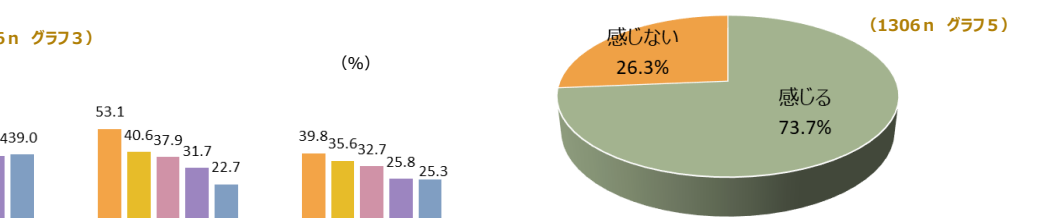


利用している率は20代以下でやや多い。全体で68.8%と約7割がハンドクリームを利用しているものの、乾燥対策をしても効果が感じられなかった部位では、「手・指先」がトップ（**グラフ4**）。水仕事や手洗い後のカサカサを訴える声や、ハンドクリームを塗っても追いつかないといった声は多い。インフルエンザ対策のこまめな手洗い習慣も影響しているのかもしれない。冬以外の季節にも乾燥を感じるかどうか聞いた

◆乾燥対策をしても効果が感じられなかった部位 上位3項目 (複数回答1306n グラフ4)



◆冬以外の季節にも「肌や身体の乾燥」を感じるか



◆冬以外の季節にも「肌や身体の乾燥」を感じる人へいつ、どのように感じますか (フリーアンサー抜粋)

全954コメントのうち、「春・秋など季節の変わりめ」214件、「夏の冷房」110件

- ・季節の変わりめに全体的に乾燥し、痒くなる。特に胴体、太もも（28歳）
- ・花粉の季節、肌、特に顔が乾燥（34歳）
- ・春と秋、すねやかかとが乾燥して粉をふいたりかゆみが出たりする（37歳）
- ・秋や春に頬や目の周りなどに突っ張るような乾燥感を感じる（39歳）
- ・夏場は、エアコンや日焼け止めを塗ることによる乾燥で、冬同様のケアが必要（40歳）
- ・夏場のオフィスのクーラーのつけすぎでよく乾燥します（43歳）

02 Working Woman's Real

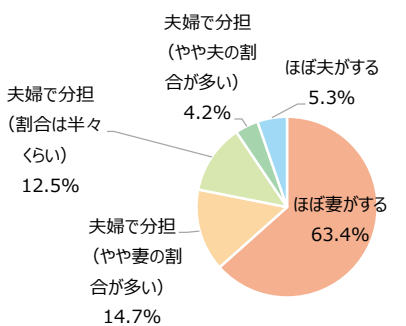
【共働き・子育て世帯の洗濯事情】

夫に洗濯のスキルアップをしてほしいが、妻から働きかけるのはストレスの元

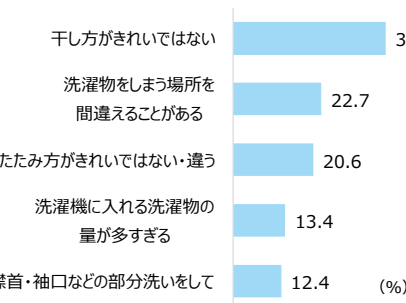
共働きで子育て中のママに、家庭の洗濯事情を聞いた。夫が洗濯（部分的にでも）するという人は36.7%。「ほぼ妻がする」人に夫と分担したいか聞くと、「今のままでいい」が56.5%と多数派。フリーアンサーでは、「夫の洗濯方法に不満を感じるのがストレス、できるようになるため説明するのが面倒」といった理由から、自分でやったほうがラクと考えている人が目立った。夫が洗濯（部分的にでも）する人のうち、夫の洗濯方法や仕上がりに「満足・まあ満足」している割合は83.5%。夫の洗濯への不満・要望の上位は、「干し方」「しめる場所」「たたみ方」。フリーアンサーでは「肩の部分を洗濯ばさみでつまんだり、ちょっと歪みぎみで干していたり」「間隔をあけて干さないで雑菌臭を発する」「洗濯機の掃除をしたりフィルターのゴミを捨ててくれない」と思いつつ、感謝しているから伝え方に気をを使うといった声が。夫と洗濯の分担が進むには、妻から言わなくても夫がうまく作業できるような工夫・サポートが、洗濯関連の商品・サービスにあると支持されそう。

2019.3.13～3.17 Webアンケート調査 集計数:265 働き方：フルタイムワーク67.9%、パート・アルバイト27.9%、自営・フリーランス4.2% 平均年齢：38.9歳

【洗濯における夫婦の分担状況】
※洗濯＝洗う・干す・取り込む・たたむ・しめる工程



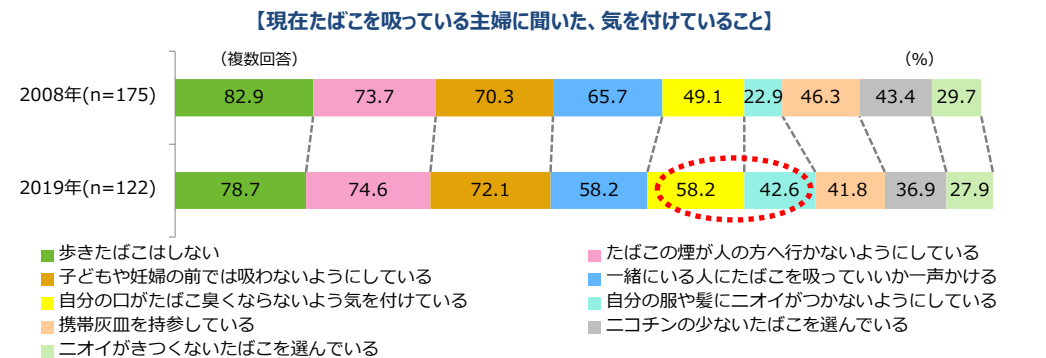
【夫の洗濯への不満・要望】
(複数回答、上位項目抜粋)
※夫が洗濯（部分的にでも）する人が回答、n=97



03 Decennial Data

喫煙に関するデータはくらしHOWサイト「自主調査レポート」に掲載中！

この11年で主婦の喫煙率は変わらず、夫は約3割減
自分のたばこのニオイケア意識高まる



加熱式たばこの登場や、受動喫煙対策を強化する改正健康増進法の成立など、環境が変化する中、全国の主婦を対象に喫煙について調査した。「現在、たばこを吸っている」人は9%、「以前吸っていたが今は吸っていない」人は15%で、この比率は2008年の調査とさほど変わらない（2008年は「現在吸っている」12%、「以前吸っていたが今は吸っていない」15%）。一方、「夫が吸っている」人は2008年に比べ31ポイントも減少（57%→26%）。

調査方法／Webアンケート 調査対象／「リビングWeb」「シティリビングWeb」「あんふぁんWeb」ユーザー【回答者プロフィール】子どもの有無：いる73.9%、いない26.1% 調査期間／2019.03.13～03.17 有効回答数／既婚女性1320人（平均年齢：46.1歳）

ほか2008年との違いが見られたのは、喫煙している主婦が「たばこを吸うときに気を付けていること」。「自分の服や髪にニオイがつかないようにしている」が23%→43%と20ポイント上昇し、「自分の口がたばこ臭くならないよう気を付けている」も49%から58%にアップ。自分につくたばこのニオイをケアする人が増えた。ちなみに、加熱式たばこを吸っている割合は34%（紙巻きたばこと併用派も含む）で、紙巻きたばこ派が多数だ。